

平成25年5月

おうちで暮らそうプロジェクト
 ～障がい児・者と家族の在宅移行・在宅生活充実をめざして～

	現状（事業実施の背景）	
--	--------------------	--

重度心身障がい児・者が在宅で生活するためには、短期入所など緊急時に宿泊できる場所があることが強く求められています。

しかし、障がい児・者の短期入所については、特定の時期に利用希望が集中し、利用しづらいなどの課題があります。特に重度心身障がい児・者を対象とした医療型短期入所（人工呼吸器や経管栄養など医療ケアの必要な短期入所）においては、市内事業所が国立病院機構福岡病院1施設のみであり、需給が逼迫している状況となっております。

この状況を解決するために、療養病床を有する医療機関での対応が可能ではないかと考え、これらの医療機関に対し直接訪問を行うなど新規参入を促したところ、新たに3つの医療機関参入に至りました。しかしながら、これらの過程の中で、利用者—医療機関間、行政—医療機関間をつなぐ情報提供、連携体制づくり等、今後も継続して取り組むべき新たな課題が明確になってきました。

これらの課題解決のために、共働事業提案制度を活用し、NPO 法人ニコちゃんの会と「おうちで暮らそうプロジェクト」事業を開始したところです。この事業を通して、医療型短期入所事業所の拡充、利用者—行政—医療機関間での情報提供、連携体制の確立に繋がりたいと考えております。

	NPO 法人ニコちゃんの会とは	
--	------------------------	--

NPO 法人ニコちゃんの会は、重度心身障がい児・者等に対して保健、医療又は福祉の増進を図るとともに、文化芸術活動等を通じた社会参加活動に関する企画運営を行い、生活の質の向上に寄与することを目的に、平成24年11月からNPO 法人として活動している団体です。

主な活動内容は障害者総合支援法に基づく、居宅介護、重度訪問介護、計画相談支援等の障害福祉サービス等に加え、在宅の重度障がい児・者等を取り巻く地域ネットワークの構築、ニコちゃんの会に所属する様々な分野のメンバーによる、文化芸術活動、スポーツ振興等も行っていく予定です。

おうちで暮らそうプロジェクト

～障がい児・者と家族の在宅移行・在宅生活充実をめざして～

課題

病院選択の難しさ

病院選択の難しさ
闇雲に事業所を増やしたとしても、各医療機関の特性や、利用者側のニーズ等様々な要素を考慮しなければ、実際の利用に結びつかない可能性がある。

情報提供の難しさ

情報提供の難しさ
利用者の受け入れにあたって病院が必要とする情報は専門的かつ個別的であり、全ての情報を的確に把握することは非常に困難を伴う。

事業内容

ニーズ調査

医療型短期入所事業開始にあたっての病院側の障壁、利用にあたっての利用者側のニーズの把握。

試験的短期入所事業

医療型短期入所事業未実施の病院において、利用者の試験的な受け入れを行う。

サポートブックの作成

入院中、退院後に関わらず、包括的に重度心身障がい児と保護者の生活支援を図るためのサポートブックの作成。

効果

